

第5期 東久留米市地域産業推進協議会  
(第5回会議録)

- 1 日 時 平成29年10月23日(月)午後6時30分～7時30分
- 2 会 場 東久留米市役所6階602会議室
- 3 出席者等(敬称略・順不同)

長谷山大輔	大山 賢一	大山 裕嗣	齋藤 正人	篠宮 武博	篠宮 利則
篠宮 宣典	小嶋 敦夫	水越 泰弘	横山 和子	若林 弘子	

事務局 鹿島、関、野村、森本、小山、笹生、武井、里見  
オブザーバー なし  
欠席 岩崎委員

4 報 告

会長：各事業部の進捗状況を報告し、意見を出し合う時間としたい。会議後は街バルでの懇親会を予定している。街バルは現在、商工会青年部が執り行っている。新しい事業への刺激になればと思っている。

(2) 各事業部の取り組みについて(報告・質疑応答)

① イベント推進事業部

● 地場産野菜の料理教室について

7月12日・28日に開催。12日は大人対象。40名以上の応募があり、抽選で24名が参加。東久留米産野菜をPRする機会となった。

28日は親子対象。小3～小5の子供とその保護者11組22名が参加。特別講師として横山和子委員と野村基之元副会長にご参加いただき、野菜の豆知識などについてお話しいただいた。

28日の回の様子を動画サイト「YouTube」に掲載し、URLを市ホームページ・SNSにて宣伝した。

● 農業体験ウォーキングの開催について

11月25日(土)開催予定。応募がすでに定員(30名)に達しており、キャンセル待ちも3組控えている。スタッフを前・中心・後ろに3名位ずつ配置する予定。途中の農業体験で収穫した大根や花は伴走車で運搬予定。参加者にアンケートの記入をお願いする。

●平成 30 年度以降に行うイベントについて

『カレーの街・東久留米』をアピールする方針で、第 3 回イベント推進事業部会以降、計画を進めてきた。

市内産野菜を活用し、カレーの街東久留米の名物の始まりイベントとしたい。将来的にはレトルトカレー化やスタンプラリー等の実施につなげたい。

8 月に商工会の会長および事務局長へ企画内容を説明し、協力を仰いだ。競争形式は避けたいとの意見を頂いた。

委員：市内店舗が幅広く活性化し、全体が盛り上がるスタイルにしたい。

●特産品 PR するプレート

市内農産物加工品・商工会ブランド認定商品を「特産品」として統一し、PR して販売促進につなげるためのもの。邪魔にならないよう縦長の形にする。100 枚程度作成し、配布したい。

都チャレンジ農業支援事業の利用も検討したい。業者を通じたプロへのデザイン発注も検討。

特産品マップ「東久留米大好きっ！」の改訂再版に備え、商工会ブランド認定商品の掲載もすすめたい。

会長：ウォーキングの手伝いは必要か。どのような事を担当すればいいか。

委員：委員には、同行や圃場で収穫体験の説明をお願いする。

委員：プレートを店舗ごとに加工して掲示していいのか。

委員：PC データ等を作成し、誰でも使用可能な様式で配布したいと考えている。予算的な負担が少ない範囲で検討していきたい。

②情報発信推進事業部

●Facebook ページの運営、分析方法の検討

8月下旬より「いいね数」のほか「フォロー数」「リーチ数（閲覧数）」に着目し、ひきつづき分析方法を検討する。最近は動画の投稿を意識して増やしている。

●ダイヤモンド富士

例年どおり開催。期間は11月18日～25日。

イトーヨーカ堂と西武鉄道の協力も得られることになった。

現在、富士見テラスが工事中だが、12月上旬に工事終了予定であるため、影響はない。

●魅力を伝える動画の募集

平成29年12月～30年6月を予定。YouTube・Facebookへの投稿が対象。参加対象者は東久留米市にゆかりある人物で、プロ・アマ不問。

東久留米の魅力をアピールする動画を募る。

目標の100動画達成はかなり高ハードル。JAなど外部の協力者が必要。

プレミアム・スタンダード・ライトの3段階でランク付けする。

プレミアムに認定されたものは東久留米公認動画として配信予定。

●ゆるキャラグランプリ

10月23日現在、1395票（300位）。

11月10日が投票期限。あと200票で前回の得票数を超える。

●地場産野菜の料理教室

当日の様子を動画としてYouTubeに投稿した。

委員：動画投稿は、大田区のYouTubeを利用した地域づくりを参考に始めてみたもの。

③新産業創出推進事業部

東久留米市立地希望者情報の提供事業実施要項について

立地を希望する事業者を登録し、準工業地域における土地の所有者や企業とのマッチングをすすめていく。より需要に見合った情報提供ができるよう、実施要綱を7月26日に制定、8月の地域産業懇談会（市内金融機関支店長との懇談会）で内容説明を行った。

●東横インのアンケート

商工会の協力のもと、H29年6月に約1ヵ月限定で行った。

40代を中心に幅広い年齢層が宿泊している。どこから来たかも様々。ビジネス目的の来訪が多い。

商工会が作成したお土産ガイドをホテルの各部屋に置いて貰えることになった。

委員：東横インのアンケートで、ホテル外での滞在時間が短かったのは残念。時間をつぶすところがないのかも知れない。

委員：商工会と情報交換しながらアンケート結果を活用してほしい。

委員：企業流出防止のモデルケースはあるのか。

事務局：国立市を参考にした。国立市の事業は「土地の所有者」「土地を必要とする起業者」の両方を登録する事業だったが、その方式のまま東久留米市に採り入れるのは難しいと考え、立地希望者のみを登録する方式とした。

事務局：11月11日（土）・12日（日）に「市民みんなのまつり」開催。地産協に毎年協力をお願いしている。るるめちゃんPRの手伝いをお願いしていた。今年も可能であれば手伝って頂きたい。

会長：青年会議所から異業種交流会の連絡があった。台風で中止になったが報告する。

市民まつりにおいて、2年前からはじまった「東久留米音頭（絆づくり実行委員会）」のイベントに地産協も参加している。今年度は1日目（11日・土）開催。参加してほしい。るるめちゃん出欠の件とともに事務局でとりまとめる。

次回の会議開催日は1月後半あたりを予定したい。追って事務局より連絡。

事務局：東横インのアンケートについて補足。ホテル外での滞在時間が短いとの結果が出たが、ホテルの稼働率は高い。12時以降にチェックインすると宿泊費が2000円程安くなる「シンデレラプラン」の利用者が多いと考えられる。池袋等から東久留米まで最終電車で来て「シンデレラプラン」で遅くチェックインし、翌朝出ていくとい

う流れ。ホテル外の店を利用する時間がない。市内に、夜中も対応できる店が必要。

以上